

際立つ技術と品質で
フロンティアを開拓し、
くらしと地球環境の向上に
貢献することで、
100年経っても存在感のある
企業であり続けます。

代表取締役社長

高下貞二



TOP MESSAGE | トップメッセージ

▶ 創業70周年を迎えて

創業70周年を迎えられた想いとこれからの決意をお聞かせください。

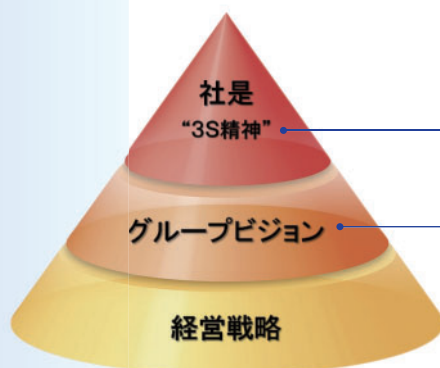
**ステークホルダーの皆様
に、あらためて深甚の敬意
を表します。**

ひとえに、ステークホルダーのご支援と我々の先人達、そして積水化学グループ従業員の努力の賜物であり、あらためて深甚の敬意を表します。

1947年3月3日、当社は、当時の夢の新素材であったプラスチックの総合的事業化を目指して設立されました。

以降、テープやポリバケツなどの生活に身近な日用品、パイプや雨といなどの生活インフラを支える資材、エレクトロニクスや輸送用機器向けの高機能材料、そして戸建住宅などの製品を世に送り出し、業容を拡大させてきました。これまでさまざまな苦難が立ちまわりましたが、その度に社は「3S精神」のもとで一丸となって困難に立ち向かい、新時代を切り開いてきました。

今後も、グループビジョンのとおり、際立つ技術と品質により、「住・社会のインフラ創造」と「ケミカルソリューション」のフロンティアを開拓し続け、世界のひとびとのくらしと地球環境の向上に貢献し、皆様に信頼され、100年経っても存在感のある企業グループであり続けるための挑戦を続けていく所存です。



Service 【サービス】

企業活動を通じて社会的価値を創造する

Speed 【スピード】

積水を千仞の谿に決するスピードをもって市場を変革する

Superiority 【スベリオリティ】

際立つ技術と品質で社会からの信頼を獲得する

積水化学グループは、際立つ技術と品質により、「住・社会のインフラ創造」と「ケミカルソリューション」のフロンティアを開拓し続け、世界のひとびとのくらしと地球環境の向上に貢献します。

> ステークホルダー エンゲージメント

積水化学のCSRを社内外に理解・浸透させていくために、どのような取り組みを進められていますでしょうか？

経営戦略部の直轄組織として「CSR経営推進室」を新設しました。

新中期経営計画は、社会と当社グループの持続的成長に向けて、社会価値と企業価値の両立を強く意識したものとっています。より明確となった

CSR経営の取り組みを、これまで以上に深く、広く社内外に理解・浸透させていくことを狙いに、2017年4月に経営戦略部の直轄組織として「CSR経営推進室」を新設しました。

同部署と経営戦略部内の経営企画、海外統括、広報、IRなど各部署とを連携させ、経営層と一体となって、国内外グループ会社への展開力の強

化、情報開示の質と量の改善による社外発信力の強化を図ります。この展開力、発信力の強化が、ステークホルダーの皆様との間に深い相互理解を生み出すとともに、当社グループに蓄積された知見を超えた貴重なご意見をいただく機会を増やすことにつながると考えています。

> ダイバーシティ経営の進捗度

2015年度にスタートしたダイバーシティ経営について、2016年度の進捗とこれまでの活動の手応えを教えてください。

ダイバーシティ実現に向けた組織風土づくりに注力しました。

当社は2015年度にダイバーシティマネジメント方針を制定し、女性活躍推進を第一歩としたダイバーシティ経営をグループ全体で展開しています。機会を活かし、脅威に対応し、競争に勝ち抜くために不可欠なものがダイ

バーシティであり、ダイバーシティ経営なくして当社グループの未来はないと確信しています。

2016年度は、各組織のダイバーシティ推進者による自主的活動への支援プログラムを展開するなど、ダイバーシティ実現に向けた組織風土づくりに注力しました。この結果、グループ全体への浸透は着実に進んでいます。女性活躍推進においては、女性の積極採用や女性社員を対象とした

キャリア研修など活躍の場の拡大に取り組んできましたが、女性採用比率や定着率、女性管理職数に変化が現れ始めています。こうした取り組みが評価され、2016年度に「なでしこ銘柄」や「新・ダイバーシティ経営企業100選」に選ばれた当社グループ会社があったことは、今後の取り組みの励みになっています。

> ステークホルダーへのメッセージ

最後に、CSRレポートの読者であるすべてのステークホルダーに対してメッセージをお願いいたします。

社会へさらなる価値を提供するため、今後もグループ丸となって取り組んでまいります。

創立70周年という節目の年に、もう一段上のステージを目指すための「新次元の成長」ビジョンとして、新中期経営計画「SHIFT 2019 -Fusion-」を掲げ、力強い確かな一歩を踏み出し

ていきたいと思えます。中長期的な企業価値向上、ひいては、社会に対するさらなる価値提供のために、グループ丸となって取り組んでいく所存です。

ステークホルダーの皆様には、建設的な対話を通じ、変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

